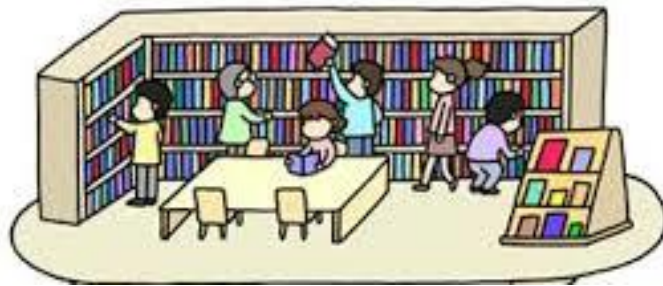


図書委員が おすすめします！

～千葉県立四街道北高等学校～



各クラスから選ばれた図書委員が、放課後のカウンター当番を
分担して学校図書館を支えている千葉県立四街道北高等学校。
毎年9月の文化祭では、クラスごとに推薦図書のポスターを
制作し、発表を行っています。

図書委員は、生徒に読んでほしい本を自分で選んでいます。
あらすじと図書委員の感想を付して作られたポスターは、
丁寧な切り絵の作品など、瑞々しい感覚にあふれています。
高校生のおすすめ本をぜひ、手に取ってみてください。

図書館では、平成28年より四街道北高等学校図書委員制作の
推薦図書ポスターをお借りし、市民のみなさまにご紹介しています

図書委員の選んだ本 & 感想 1年生

◆アウトブレイク・カンパニー 榎 一郎/著 講談社

この作品はライトノベルの1つでアニメやマンガが好きな人におすすめです！魔法あり、恋愛あり、ドタバタありの楽しい作品です！！



◆また同じ夢を見ていた 住野 よる/著 双葉社

この本の特徴は、少女が大人になって間違えた人生の選択をした自分に会うという内容のため、創造性を駆使して考えさせられるような本だということです。時空を無視して書き表されているので、パラレルワールドに行った少女の姿に非常に高揚します。

◆君の臍臓をたべたい 住野 よる/著 双葉社

この本は主人公とヒロインの「青春」と「命」と「恋」というものを詰め込んだ甘ずっぱくも切ないラストは涙がポロポロでてる本です。読めばあなたもとりこになってしまう大ベストセラー青春小説！



◆デューク 江國 香織/著(「つめたいよるに」所収)

現実にはない体験でとても心が温まりました。少年がメッセージを伝えた瞬間が印象的でした。

◆霧のむこうのふしぎな町 柏葉 幸子/著 講談社

ファンタジーな世界観と主人公リナの明るく前向きな心情に心強く打たれる物語です。とても住んでみたくなるような気持ちになります。登場人物達のキャラも濃く、千と千尋の神隠しの原作となった作品ですのでよかったら読んでみてください！！



◆君が落とした青空 櫻 いいよ/著 スタツ出版

最後の方で捨身になって、素直になる主人公に元気をもらいました。さくっと読める1冊で、ジャンルとしては恋愛小説になるのかもしれないけれど、あまりそこを期待するとイマイチかもしれません。けれど主人公の心情描く力や伏線の張り方は結構好きで何度も同じシーンを繰り返しているのに飽きずに読ませる力はすごいなと感じました。とても良い作品なのでぜひ読んで見て下さい！！

図書委員の選んだ本&感想 2年生



◆ぼくは、明日、昨日のきみとデートする 七尾 隆文/著 宝島社
彼女の秘密にとってもおどろきました。このままでいたい2人にとって辛い運命だなと 思いました。大事な人が消えてしまう悲しみがわかる小説です。とても切ないはなしでした。

◆Bad∞End∞Night ひとしずく P/著 一迅社

この本は難しい表現、堅い表現が少なかったので、普段本に慣れていない人でも読めるような本だと思いました。内容も難しくなく、読みやすいので、上、下巻ともにすらすらと読めました。この機会にぜひ 読んでみて下さい。



◆トネリコの王 日向 夏/著 主婦の友社

この物語は、目が覚めたら新世界にいた主人公がいろいろな陰謀に巻き込まれながらも一生懸命新世界を生き抜いていく話です。内容もとてもおもしろいのですが、表紙の絵や挿絵などもすごくきれいで、絵に興味のある人も楽しめる作品なのではないでしょうか。

◆レイトン教授と幻影の森 柳原 慧/著 小学館

本としてでているレイトン教授のシリーズ3作の中でも、もっともナゾが多く簡単な物から、ひとひねりしないと解けない難しいものもあります。活字が苦手な、内容を読まなくても楽しめる作品なので、みなさんも ぜひ読んでみてください。



◆おおきな木 シェル・シルヴァスタイン/著 篠崎書林

りんごは男の子が大好きでずっと待ち続けていた所が感動しました。また、りんごの木はすごくかっこよくて、良い本だと思いました。子供から大人まで、楽しく読める本なので、是非読んで下さい！

◆夏と花火と私の死体 乙一/著 集英社

死体となった五月の目線から書かれるストーリーで主人公の弥生は五月を殺して泣いたのですが、それは未来の自分のことが心配なだけで五月のことはあまり気にしていないなど色々な面で人間のこわさがわかります。



図書委員の選んだ本&感想 3年生

◆神様の御用人 浅葉 なつ/著 KADOKAWA

こんなキツネの神様に会ってみたいと思った！モフモフしてて
すごくかわいい！神様のお願いをきいてみてもいいかなって
思った！



◆ソードアート・オンライン 川原 礫/著 KADOKAWA



VRMMORPG というゲームのジャンルの中で物語が進んでいくのですが、現代の VR 技術のこともあり、フィクションであるはずなのにどこかリアルに感じる不思議なお話です。ただのゲームではなく、デスゲームだからこそ味わえる緊迫感や感情移入せずにはいられないキャラクターたちの心理描写も魅力です。

◆ちぐはぐな部品 星 新一/著 角川書店

大杉がもう少し堂々としていたら未来を見ることが出来ていたのだろうか？本当の未来はどうなっているか、など考えさせられる所が多くありました。どの話も短い話なので 忙しい人にもおすすめです。



◆ランナー あさの あつこ/著 幻冬舎

想像より重い内容ですが、複雑な家庭環境の下、それぞれの思いを胸に、悩み、葛藤し、闘っていく姿の描写にどんどん惹きこまれる話です。

◆CRISIS 公安機動捜査隊特捜班 金城 一紀/原案 KADOKAWA

ドラマでの設定と全く同じで、新しい事件が楽しめます。またドラマを見ていなくてもスリルの味わえる作品となっています。ドラマではえがかれていない5人の過去などが分かりとてもかっこよく楽しいです♡



◆永遠の0 百田 尚樹/著 太田出版

当時、どんなに過酷で大変だったのかわかるし読んでいくうちに泣けてくるくらい感動できてすごくいいお話です。映画にもなったのでおすすめです。